

目標達成計画

作成日：平成 23 年 6 月 22 日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	10	家族の運営推進会議に出席して下さる方が少なく、家族の意向が十分運営に反映されていない。	一人でも多くのご家族、身内の方が出席して下さり、多くの意見を取り入れながら運営へ反映させる。	家族が出席しやすいよう、開催の日時を行事に合わせるなど工夫をする。遠方の家族や出席できない事情がある家族には、事前に意見や希望等が聞けるよう通信などでお願いをする。	6ヶ月
2	13	立地条件の関係上、地震・津波の被害が深刻であるため、対策と避難時の詳細なマニュアルの作成、非難訓練が必要とされる。	地域の協力をお願いすると共に、避難場所を取り決め、家族に理解と協力を得る。	マニュアルの作成を行い、地域の方に協力をお願いをする。長時間避難出来る場所の確保と状況に応じたは何経路の確認。	4ヶ月
3	2	地域に貢献しながら地域住民との繋がりを深め、ゆうゆうホームを知っていただく。事業所から地域に向けての貢献が足りないため、積極的に取り組む必要がある。	地域行事への参加を積極的に行う。地域とのつながりを深めるため、近所の方にも参加してもらえようような行事やイベント、講習会などを開く。	散歩時に公園や周辺の側溝のゴミ拾いを行う。散歩や外出の機会を多くして入居者の顔を知っていただく。近所の方や家族を招いての行事やイベントを計画し、通信や掲示板などを利用して参加して頂く。	6ヶ月
4	48	毎月ごとの行事計画以外に、これまでの屋内で出来るちょっとしたレクリエーションは不定期であったため、計画的に行い、新たな楽しみとして欲しい。	1週間の計画を立てる。全員が参加でき、一人一人が楽しめて、出来ればみんなで力を合わせて一つの物を完成し、達成した感動を共有してもらえらる。	個々の出来ること、出来ない事を把握し、参加が偏らないようなレクを考える。共同で作成し、達成感を共有してもらえようようなものを提供する。	6ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入して下さい。